



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



CONTENTS

2p・かすりの小径報告

第十回 久留米かすり
3p・藍・愛・で逢いフェスティバル
イベント情報

4p・EVENT

・絣着こなし術 大中香代子さん
・地場産ショップインフォメーション

藍は藍より出でて...

大寒のころ、藍甕は外気のおんどが零度近くになつても18〜25度を保つようにかめの下から暖められています。ここ八女郡広川町にある山村健藍染絣工房と野村織物(有)の染めの作業場では日曜日にも関わらず作業が続けられています。藍は生葉を発酵、乾燥させたものを「すくも」といい、藍甕の中には、木灰のアク、すくも、そして水飴を入れ約2週間の間発酵させ、絣の染料としての準備をします。

野村さんは週4、5日藍甕の健康状態を見ながら染めの作業をします。「藍は量を染めると疲れてきます。すると少し休ませるとまた元気になるんですよ、藍も生きものなんです。最初のものは濃く染まるし、時間がたったものは薄く染まる。下藍、中藍、上藍と薄いものから順々に染めて行きます」藍甕の横には50年を経た「たたき床」があり、括り糸を染めながら、叩き床で糸が空気に触れるように糸をほぐし、そしてまた藍甕へ。その作業が40回程繰り返されます。最盛期にはこの藍甕が60個程あったそうです。

藍の濃淡は40通りの段階がありそれぞれに風情のある呼び名があります。甕覗き、瑠璃色、縹、紺、濃紺、千歳紺など、先人が名付けた名称には日本独特の色彩美学があります。山村さんは「藍の声を聞きながら、最高の状態のときかどうか藍と会話しながら染めています。薄いものを何回も繰り返すことで深い藍色に染まります」括り糸を解き、経糸(縦糸)・緯糸(横糸)が織り重なったときに久留米絣の独特の模様が生まれます。

かすりの小径ウオーク報告



100余年の歴史を伝える
旧国武絣倉庫の内部



善福寺での
香蘭ファッションデザイン専門学校の
展示、販売



遍照院駐車場に設けられた
本部（総合案内、絣・お菓子販売）



旧国武絣倉庫外観



講演会に聴き入る皆さん



観光ボランティアガイドによる
遍照院庭園の案内



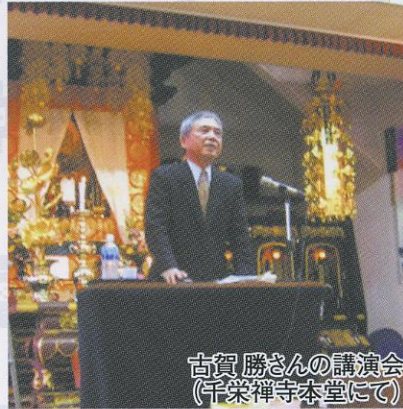
絣のマスコットも誕生！

昨年11月23日（祝）久留米市内の寺町・日吉町界隈を中心に「かすりの小径ウオーク」は、かすりすとの野外イベントとして初めて開催されました。当日はあいにくの雨模様、時折曇りという天気でした。

午前中の準備では企画委員や、善福寺での絣作品「私たちの着たい絣服」展示にご協力いただいた香蘭ファッションデザイン専門学校の学生さん約30名にもお手伝い頂きました。午後1時からは千栄禅寺本堂で久留米出身のジャーナリスト古賀勝さんによる久留米絣講演会「お伝さん」とくるめ商人の足跡を辿る」と題し、約100名の参加者を前に講演をして頂きました。



旧国武絣倉庫内での絣展示



古賀勝さんの講演会
（千栄禅寺本堂にて）



善福寺絣バザー

当日は久留米市観光ボランティアガイドの皆さんにご協力頂き、講演会終了後の散策に同行して各寺院の歴史や人物にまつわるエピソードも説明いただきました。サブ本部として開放していただいた旧国武絣倉庫では、倉庫内の開放と絣織元さんの協力により絣の展示販売も好評でした。今回は初めての試みでしたが、オリジナルの絣鯉頭やマスコットもできました。今後は開催時期を検討し、より楽しんでいただける催し物を組み込んでいきたいと考えております。

最後に地元の皆様をはじめ、観光ボランティアガイド、そして香蘭ファッションデザイン専門学校、他、関係者各位の皆様、ご協力ありがとうございました。



遍照院庭園の紅葉



街角の絣ショップにもご協力いただきました

藍・愛・で逢い広場(メイン会場)

久留米絨の反物・和装品・洋装品・小物工芸品・裂れや手工芸材料等々総ての品々を取り揃え、特徴を競い出展いたします。



1F

久留米絨ファッションショー

伝統的な本物の価値をモダンに、ファッションデザイナーのトレンド情報をプロデュースし、あわせて「プレタポルテ・パリ」かすりコレクション情報をファッションショーで再現いたします。

【公演】両日とも1日2回

11:30～/15:00～



2007 久留米絨新作発表会

本年度の新作、創作品を一堂に発表し、来場者の方々の審査で経済産業大臣賞以下受賞作品を選んでいただきます。

【一次審査】17日(土)

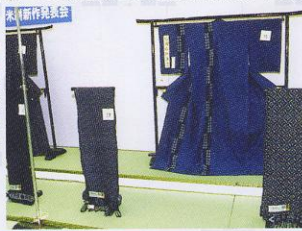
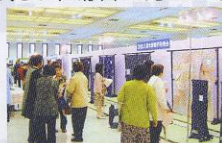
【二次審査】18日(日)

【審査発表】18日(日)

【主催】久留米絨協同組合(久留米絨組合連合会)

(出展作品:手織絨部門・機械織部門・絨二次製品部門 約150点)

審査投票及びアンケートを実施者には抽選で絨粗品進呈。



久留米絨活用製品企業コーナー

異業種企業出展コーナーでは、久留米絨靴、オリジナル「かすりスニーカー」作りの実演販売やトート、時計等々を出展販売いたします。

【出展企業】(株)アサヒコーポレーション・安永企画

久留米絨ブランド化事業コーナー

日本の伝統工芸の文化的価値を、国際的ファッション「プレタポルテ・パリ」コレクション、「ティッシュブルミエ」テキスタイル展の新素材久留米絨作品を発表いたします。

姉妹都市 福島県郡山市観光物産フェア

久留米市の姉妹都市の福島県郡山市、銘菓 柏屋薄皮饅頭・磐梯豆、ラーメン他、張り人形、高柴デコ屋敷、三春駒など特産品コーナーにおいて協賛販売を行います。

【交流出展】福島県郡山市

手織り体験教室

絨技術者の指導で、絨干支「亥」の手織りをチャレンジできます。

【体験時間】10:00～17:00

【募集】1日10名 計20名(受付は発表後先着順)

【教材費】有料(織上げ品は持ち帰り)

【申込先】久留米絨協同組合

TEL.0942-44-3701

かすりでハイ・ポーズ

久留米絨着用の方は、プロカメラマンが記念撮影をいたします。
(※写真=無料)

絨小物制作教室

絨小物作りを指導します。参加希望者は各日受付、教材費は有料。

絨オーダーメイドコーナー

アトリエ筑後十色館デザイナーのオリジナルファッションを、オーダーできます。

久留米特産品「ふるさと市」

地域の銘菓、お茶、新鮮な野菜、特産工芸品の販売を行います。

第十回 久留米かすり 藍・愛・で逢いフェスティバル

とき 平成19年3月17日(土)・18日(日)

午前10時～午後5時 ところ 地場産くるめ

約30分間隔で無料送迎バス運行!

JR久留米(ミスタードーナツ前)

西鉄久留米(0番のりば)

フェスティバル会場

両日ともJR久留米の始発はAM9:30です。

お問い合わせ先/藍・愛・で逢いフェスティバル実行委員会 TEL.0942-44-3701

イベントインフォメーション

筑後よかもん倶楽部 近々リフレッシュオープン

『こだわりの八女茶 生産者の顔が見えるお茶屋』

筑後地方のよかもんを久留米の中心街で発信して一年余り、日々、お客様の要望にお応えして、より生活に密着した商品をご紹介しますと努めております。今回、毎日の食卓に登場する『お茶』をよりおいしく、安全に提供いたします。お茶の発祥の地のお茶や無農薬で堆肥を使用してつくってお茶などすべておいしいお茶を作ることによりこだわりを持った生産者の方々が自身を持ってお勧めする逸品を揃えてあります。乞うご期待!!



久留米市東町34-72 (一番街)
TEL.0942-80-1611 / 休:火曜

地場産くるめ いい日地場産フェア

とき 2月11日(祝) 10時~17時
ところ 地場産くるめ2F (久留米市東合川5-8-5)
久留米餅・特産品全品11%OFF (酒類除く)

久留米餅手作り体験教室

さくらんぼのブローチ手作り教室

参加費 700円 先着60名

受付 10時~13時30分~



特設コーナー 工房響(ひびき)展示会開催!

銘木、けやき、楠、桜の木の根など自然の持つ姿、形を生かした自然の美を追求し、アクセントとしてかすり等の洋服・小物に合う手芸パーツを取り揃えてあります。

主な作品:花台・ペンダント・座卓

ストラップ・手芸パーツほか

その他、餅、お菓子、野菜、手作りパンなど特設コーナーがあります。

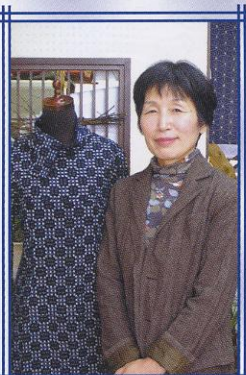
※イベント内容は変更になる場合がございます。

〈お問い合わせ〉TEL.0942-44-3700



着こなしの第一歩は、まず自分のお気に入りの一着を

着こなし術



縫い人 う・ふ・布
デザイナー&オーナー
大中香代子さん

縫い人 う・ふ・布 (乾太郎窯)
久留米市東町496-4
TEL.0942-33-5419
HP: <http://www71.tiki.ne.jp/kentaro>

「作っている途中で色々なことが起きます。気が変わったたり、失敗したり、そのたびにデザイン変更、仕上がり良ければ良しとして、気ままに服も器も作っています」

「久留米餅の面白さは柄の扱い方だと思っています。柄次第で作ることがあります。同じデザインでも大柄、小柄では雰囲気が違ってきます。そこが難しい反面、面白いところだと思っています。また着こなしが難しいとよく聞きますが、餅の個性を味方にして着慣れることだと思っています。そしてお気に入りの久留米餅でお出かけしてみませんか」



普段着よりおでかけ着として着て欲しい



久留米餅創意工夫展
グランプリ作品

久留米餅との出会いは、陶芸家のこの主人が修業時代に収集されていた餅を見た時だそうなんです。それからこの主人のシャツや小物を作り始めたのが、餅と向き合つての物づくりの始まりのこと。

「本格的に餅の服を作り始めたのは平成15年、初めて出品した第9回久留米餅創意工夫展でグランプリ賞をいただいたときからです。最近はお小物も作っており、一部は地場産くるめにて展示販売しています」とおっしゃる。

地場産くるめSHOP INFORMATION

雛祭りコーナー

お雛様は幸せを運んでくるような華やかなものです。柳川のさげもん、久留米おきあげ、その土地ならではの祭り、ここに踊らされ出かけたくになります。地場産くるめにも雛祭りコーナーを御用意しているような雛人形を展示いたします。組紐雛、お手玉雛、折り紙雛、はまぐり雛、小さくてかわいい雛人形を多数とりそろえ心華やかになるコーナーを御用意して御来館をお待ちしております。



ふるさと「頑張り屋」です!
地場産くるめ
財団法人久留米地域地場産業振興センター

TEL. (0942) 44-3700

FAX. (0942) 43-1020

HP: <http://www.kttnet.co.jp/jibasan>

※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。